

目 次

(1) 募集案内・お知らせ

■外国人留学生のための合同企業説明会「JOB FAIR」開催
～出展企業60社決定～

■「ワン・ワールド・フェスティバル」開催

★OFIXプログラム「留学生フォーラム」

★ワン・ワールド・フェスティバル JICA 大阪出展のご案内

(2) 大阪府外国人情報コーナーだより

■離職した場合の手続き

(3) 事業報告

■留学生のための日本文化体験会「国際交流茶会」を開催しました

■「ふれあい交流祭」を開催しました

(4) OFIX ネットワーク

■大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館より

(5) OFIX 国際交流員のレポート

■アイドリング・ストップ！

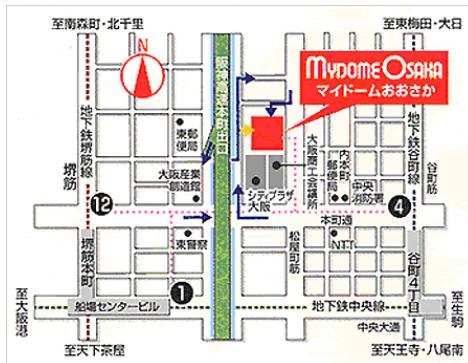
(1) 募集案内・お知らせ

■「外国人留学生のための合同企業説明会」開催

外国人留学生と留学生を積極的に採用する60社の企業との出会いの場をつくり、留学生が就職するにあたり必要な情報を提供することにより、外国人大学生などの日本での就職を支援します。在関西の各国総領事館の協力も得られますので、それぞれの総領事館でもこの合同企業説明会のチラシが手に入ります。

日時:平成 23 年 1 月 15 日(土)10:00～17:00

会場:マイドームおおさか1階(大阪市中央区本町橋 2-5)



参加募集対象者:

日本企業(外資系を含む)に就職を希望する外国人留学生など。

・2011年・2012年3月卒業予定、既卒の外国人大学生および外国人専門学校生

内容:

「企業ブース」外国人留学生などに対する採用意欲の高い企業(60社出展決定)

「個別相談コーナー」キャリアカウンセラーによる就職個別相談コーナー、行政書士による在留資格相談コーナー

「セミナーの開催」在留資格に係る注意点、就職対策DVDコーナーなど

参加費:無料

問い合わせ:大阪府国際交流財団、企画推進グループ

TEL:06-6966-2400 E-mail:info@ofix.or.jp

詳細はこちら:<http://www.ofix.or.jp/shien/index2.html>



○基本的に事前予約制になりますので申し込み方法および出展企業60社の検索は<http://www.grs-project.jp> をクリックしてください。事前登録することにより、定期的にメールマガジンが送られてきますので、毎回事前に各出展企業のより細かな情報を見ることができます。

***みなさんの参加お待ちしております。

■「ワン・ワールド・フェスティバル」開催

2011年2月5日(土)～6日(日)の2日間、大阪国際交流センターにて「ワン・ワールド・フェスティバル」を開催します。このフェスティバルは、府民に広く国際協力の大切さを認識してもらうために、関西を中心に国際協力を携わっている NGO、国際機関、自治体、企業などが協力して、活動紹

介展、シンポジウム、パネルディスカッションなどを実施するものです。OFIXでは、事業紹介ブースを出展するほか、「留学生フォーラム」というプログラムを企画しています。

日時:2011年2月5日(土)10:00～17:00

2月6日(日)10:00～16:00



場 所: 大阪国際交流センター
(大阪市天王寺区上本町
8-2-6)
参加費: 無料

問合せ: ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会事務局
Tel: 06-4395-1124
※詳しくは、事務局ホームページをご覧ください。
⇒<http://www.interpeople.or.jp/owf/index.php>

★OFIXプログラム「留学生フォーラム」

日 時: 2011年2月6日(日) 15:00~17:00 (予定)
場 所: 大阪国際交流センター 3階第4会議室
内 容: 「国際理解を深めましょう! 国際的な視野を持つグローバル人材の育成について語りましょう!」というテーマで「留学生フォーラム」を開催します。

留学生が母国紹介や、国際的な視野を持つのに何が重要かや、大阪国際化の期待や、グローバル人材育成の重要性等について発表し、一般参加の方も交えてディスカッションします。
~多くのご来場者お待ちしております!~

★ワン・ワールド・フェスティバル JICA 大阪出展のご案内

2011年2月5日(土)・6日(日)に大阪国際交流センターで開催される「ワン・ワールド・フェスティバル」。JICA 大阪も以下のプログラムを実施します! ぜひ遊びに来てください。

① 関西人、世界に飛び出す!

関西から世界に飛び出した、「世界青年の船」など内閣府青年国際交流事業の参加者(2/5)や、青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの参加者(2/6)たちが、世界の現状とその経験を語ります。

② 研修員を探せ!

研修のために海外から JICA 大阪に来ている外国人が、ワンフェス会場内にいます。声を掛けてスタンプをもらいましょう。スタンプがカードいっぱいになれば、研修員から小さな景品がもらえます。

③ 研修員による母国紹介

海外から来ている JICA 研修員が自分たちの国の状況や開発課題における現状を紹介します。

④ アフリカを知ろう! 2010Ver. JICA 教師海外研修報告会

~伝えたい国・タンザニアがそこにある~

この夏、学校の先生がタンザニアへ派遣され、そこで学んだことを子どもたちに伝えました。自分たちは何を感じ、何を子どもに伝えたかったか、子どもは何を学んだか?そしてどのように教材化したかを報告します。

⑤ JICA ブース

JICA の事業を紹介するブースは、ODA 機関コーナーにあります。協力隊のこと、職員の仕事のこと、海外で JICA がどんな活動をしているかなど、何でもスタッフとお話してみませんか?

(2)大阪府外国人情報コーナーだより

■離職した場合の手続き

日本で働いている外国人の方が、仕事を失った場合、様々な手続きが必要となります。その人が職場を通して健康保険や厚生年金に加入していたのであれば、それらの保険・年金は離職により失われます。そのため、「国民健康保険」と「国民年金」に加入するため、市町村の窓口で手続きを行います。ただし、離職後、働いている家族の扶養家族となるのであれば、その人の健康保険に加入するか、または、雇用主分を自ら負担して前の職場の健康保険を「任意継続」とすることも可能です。雇用保険の受給資格を満たしている場合は、離職票などを持参して、最寄りのハローワークで雇用保険の受給の手続きを行います。離職の理由によっては、3 か月間給付の制限を受けます。在留資格に

関しては、活動に制限のある方の場合、正当な理由なしに現在有している在留資格の活動を行っていないと「在留資格取消し」になることもあります。職業・勤務先が変われば、外国人登録の窓口で変更届も提出します。

◎大阪府外国人情報コーナー

(月~金曜日(祝日を除く))専用電話:06-6941-2297
(対応時間:9:00~17:30)

FAX : 06-6966-2401

E-mail : jouhou-c@ofix.or.jp

対応言語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

(3) 事業報告

■留学生のための日本文化体験会「国際交流茶会」を開催しました

11月21日(日)堺留学生会館オリオン寮にて「国際交流茶会」が開催されました。午前と午後の二部構成で中国、台湾、韓国、タイ他国、地域からの男女留学生80名が参加しました。この「国際交流茶会」は(社)裏千家淡交会大阪西支部なみはや青年部、(財)大遊協国際交流・援助・研究協会によって開催され、毎年たくさんの留学生が参加し好評を得ています。OFIXは着物着付けボランティアとして協力をしました。艶やかな着物に身を包んだ留学生たちがお茶席での作法

を学び体験した後は、思い思いのポーズをとって写真撮影を楽しんでいました。他にも駒回し、折り紙、剣玉、福笑い等懐かしい日本の遊びに夢中になっていました。



■「ふれあい交流祭」を開催しました！

11月23日(火・祝)に関西国際センター研修交流支援協議会が主催する「ふれあい交流祭」は国際交流基金関西国際センターで開催されました。この祭は研修を行っている海外からの研修生と地域の方々が直接交流できることを目的としています。各国からの研修生の自国紹介や絵手紙、書道、玩具などの日本文化紹介ブースでは来場者と研修生が仲良く交流しました。また、大ホールでは各国の民族衣装によるファッ

ションショーやハワイアンダンスなど、楽しいステージが盛りたくさんありました。



(4) OFIX ネットワーク

■日独交流150周年 ～大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館より～

大阪・神戸 ドイツ連邦共和国総領事館

大阪・神戸 ドイツ総領事館は、日本の中でも特別な存在です。その歴史は明治時代にまでさかのぼりますが、近年の出来事は現在の総領事館の名前にも表れています。

神戸で何十年も開館していましたが、1995年に阪神淡路大震災に遭い、それまでの総領事館は全壊しました。早朝5時の出来事でしたので、スタッフもビクターもいませんでした。そのおかげもあり、幸いにも誰もけが人は出ませんでした。建物は一瞬にして、跡方もなくなりました。結果として、私達は新しい開館場所を探さないといけなくなり、新築の梅田スカイビルに総領事館を移すことになりました。

スカイビル タワーイースト35館に移って以降は、西日本・九州・四国などの29県を管轄しています。お近くにお越しの際は、いつでも気軽にお立ち寄り下さい。

150周年を迎える日独交流

日独交流150周年の説明をするためには、150年の歴史を振り返る必要があります。1860年秋、オイレンブルク伯爵が率いたプロイセンの東方アジア遠征隊が江戸沖に来航し、長きに渡っての友好関係の礎となる修好通商条約を結びました。

この友好関係を祝うために、2010年秋から2011年秋にかけて、大小さまざまなイベントが日本同様にドイ

ツでも企画されています。見つめる先は未来です。両国の「埋もれた宝」を掘り出し、未来への架け橋になりたいと思います。昔から培われた絆に留まらず、新たな絆を結び、新しい媒介手段を講じて日独両国の結び付きを強化し、両国の青少年の心を獲得するのがその目的です。特に若い人たちの互いの国に対する関心を高めたいと願っています。

イベントには誰が参加出来るのでしょうか？誰でも歓迎です。文化施設、文化交流団体姉妹都市関係がある自治体、企業、日独関係に関連する催しを計画・支援していただける方などは、総領事館にご連絡ください。

ドイツクリスマスマーケット

今日の私達を知っていただけるのは、梅田スカイビルの間(丁度、領事館の窓の下になります)で開催しているドイツクリスマスマーケットにお越しいただくことです。ドイツのソーセージとグラーワイン、そしてあなたの愛する誰かへの素敵なクリスマスプレゼントと一緒に、満喫した日を過ごしてください。

公式ホームページ:

<http://www.osaka-kobe.diplo.de/>

